

2013/
7月6日記録

NPO ふくてっく定例会

司会 秋岡 会員

場所 大阪市立社会福祉センター

* 事務局報告 *

中北 会員

- ・ふくてっく20周年にむけての記念事業検討委員会からの報告。：小川会員
6/15第4回検討会実施 7/6 第5回検討会実施
- ・6/13「東北⇄関西ポジティブ生活文化交流祭」第一回実行委員会に参加してきました。次回は7/18の予定。
- ・6/22「ものづくりのつどい」を開催。
普段集合しない顔ぶれで、いろんな意見を交換し有意義な議論が出来ました。
- ・阪南病院（児童精神科）への見学会を8月又は9月に実施します。：中北会員
- ・7月13日に運営会議を開催します。
各部会は24年度（h24.7～h25.6）の活動報告・収支報告、25年度の活動計画・予算を早急に提示してください。

* 閲覧資料および書籍の紹介 *

* 学習会 *

13:50～15:20

「東日本大震災等から学ぶ障害者市民の防災」

八幡 隆司氏 特定非営利活動法人 ゆめ風基金 理事

東北大震災と阪神のそれとの違いは、後者が直下型地震であったことと、多数の老朽家屋の事情があいまって、被害は老若を問わず及んだのであったが、前者では「津浪」からの逃げ遅れが背景にあり、高齢者と障害者に多数の死亡者が発生したことが第一の特徴であった。また第二に、阪神とは比較にならない広域被害であったために、遠方避難がやむなくされ、それは「コミュニティのない避難生活」を強いることに繋がった。さらに第三の特長として、東北は元来、施設福祉が主流で、しかもそれが地域ごとに単一の巨大な社会福祉法人による総合的な多角事業に委ねられていて、関西のようにNPOその他、多様な事業主体がない地域であったために、地域に福祉基盤が浸透していないという事情があった。したがって在宅におけるヘルパー利用も一般化することがなかったのである。

私たちが乗り込んで、まず驚いたことは避難所に障害者がいないということであった。社協が運営していた精神GHも職員不足で閉鎖され、数少ないマンパワーは避難所に集中されるのだが、各避難所の受付でも地域における障害者の存在さえも把握していない。ボランティアセンターでも障害者はサポートできていない状況に、私たちは活動を始めたのであるが当初は、地元の福祉事業者から「寝た子をおこすな」と言われた。いわく、今はみんなが大変なんだと・・・
「みんな」の中に障害者は入っていなかったようだ。

被災以前の状況として、かの地では社協もボランティアセンターも障害者の支援はできていなかった。大阪ではごく一般化したバリアフリーバス（ノンステップバス）などは、赤字経営の中でとても導入することはできないのだ。そんな中で起きた災害・・・そして仮設住宅は山地に点在・・・移送サービスが欠かせない事態となった。

阪神では3年で96%の復興住宅を完成させたが、東北では5年計画の3年が経過して、まだ1割しか進んでいない。そして厳しい気候。何も進まない中で状況は悪化し、沈滞ムードが漂う。

厚労省は、福祉避難所（福祉施設を避難所として機能させる）の設置を奨励する。しかし特養はその受入れを拒み、学校は体育館しか空けない。“人の手配を考えた”福祉避難所は見当たらず、行政は福祉避難所に直接行かないでほしいと言う。また被災者も避難所に逃げ込んで“誰かが何とかしてくれる”という気持ちしかない。大切なことは、自ら主体的に避難生活ができるか、ということだ。スーパーでもできて、給水車がきても、高齢者や障害者は並ぶことすらできない。

“指定避難所”が必要なのではなく、“避難支援センター”が必要だ。家が倒壊して住む場所を失った人ばかりが避難所に行くのではなく、避難支援センターに市民が集まって支え合う住民システム（自主防災）を構築することが目標だ。

1. 住環境研究部会

佐久川・曾我部 会員

学習会案内 日 時：7月27日（土） PM3時～5時ごろ
場 所：池端さんの事務所（関西照明器具工業協同組合）
テーマ：「老人ホームの実態」
講 師：郷戸敦子氏

2. 研修部会		鎌田 会員
「パソコン教室の案内」 7月のパソコン教室はお休みします。		
3. 東大阪部会		川北 会員
<p>① 6月の東大阪における改造助成・介護住改の検証活動は6日間（6/6、11、13、20、21、27）延べ12名活動。</p> <p>② 6月事前相談会 6/6・20の2日間、相談件数：1件 20日は西福祉事務所にて実施</p> <p>③ 「H25年度改造助成Q&A集」「改造助成 市民啓発冊子」納品しました。</p> <p>④ 6月15日 10:00～12:00 大阪市立社会福祉センター3階「活動検討会」開催、参加者7名 ・事例検討等について</p> <p>尼崎における25年度の取組はまだスタートしていません。 8月から準備して、9月以降に始動か</p> <p>★ワンポイントアドバイスは寺岡会員：テーマ「環境：3Rについて」 担当：寺岡 Reduce（減らす） Reuse（繰り返し使う・再利用） Recycle（再資源化）・・・ Refuse（不要なものは買わない、もらわない） Repair（修理して長く使い続ける）を加えて5Rも</p>		
4. こむねっと事業部会		中北 会員
<p>1. こむねっと部会 福祉サービス第三者評価、SCP研究、障害者主体の住宅改造事業など、部会活動としての大きな進展はありませんが、若江岩田の工場建築、淀川区の医院建築リノベーション計画は着々と進んでいます。 6/25 法人理事会において計画の大筋が承認されました。 若江岩田の他にも障害福祉事業を開設する既存建物調査活動が数件進行しています。 ぽぽんがぼん（茨木市）紫陽花（大阪市・東大阪市）ムーブメント（大阪市）など 5月31日付けで、奈良県の評価機関として認証・登録されました。 7月の部会は休会とします。</p> <p>2. 社会連携事業 6月15日 部会に替えて宅老連総会に7名で出席しました。 団体会員になっています。</p>		
ひとことタイム（会員による個人の情報発信コーナー）		
<p>小川会員：6/2 扇町公園 大阪リレーマラソンに参加しました。 42.195kmを約3時間で走破。82組中54位でした。 大塚会員が大阪マラソンのエントリー抽選に合格。10/27はみんなで応援しよう！ 佐久川会員：砂川えりか情報 若干体調を崩して活動を休止しているが11月には再起予定</p>		
グループミーティング（テーブル毎にフリートーク）		
初参加者の感想（初参加者には例会参加の動機、参加した感想など一言お話しいただきますのでご協力ください）		
<p>大八木さん 天王寺合唱団の縁で参加。自身阪神大震災で7針縫う大けが。 ふくてっく？ 何をしている会かわからなかった、まだわからないが、ともあれ楽しかった。 音楽療法などで障害者を元気づけて支援している。いろいろな特技を活かして活動してくれる人を募集している。</p>		
次回例会の司会予定 平成25年7月6日	司会：有馬会員	五十音順です。予定者の都合が悪い場合は、次の会員が担当となります。 予定：池端会員 稲住会員
次回以降の予定		
<p>・8月3日（土）13:30～17:00頃 会場：大阪市立社会福祉センター ■総会/学習会 「(新曲)生きてていいんだ 砂川恵理歌さんの活動について」 佐久川会員</p> <p>・9月7日（土）13:30～17:00頃 会場：大阪市立社会福祉センター（予定） ■学習会 テーマ未定</p>		